

波佐ネット通信

No. 84 2017.7.20

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会
波佐文化協会
能海寛研究会
ほたる湯館G・ゴルフ場

第5回チベットセミナー／第23回年次大会を開催

能海寛研究会主催の「第5回チベットセミナー」を7月8日午後1時30分より、金城町波佐・ときわ会館において開催し、能海寛の入門講座として隅田事務局長が、「能海寛の新仏教徒運動」(国外編)「不惜身命の生き方」を、岡崎会長が『青海に入った初めての日本人、能海寛の第二次探検ルートの研究』の講師を勤めました。

7月9日午前10時より、「第23回年次大会」をときわ会館で開催しました。年次総会へ大屋俊弘県議会議員、芦谷英夫浜田市議会議員より祝詞をいただきました。

総会議案5件が原案通り承認されました。特に、平成30年に「能海寛生誕150年」を迎えるにあたり、記念事業として、7月8日(日)に「記念式典」及び「生誕150年記念シンポジウム」の開催が承認されました。総会后、

会員研究発表は、岡崎秀紀氏が『青海に入った初めての日本人、能海寛の第二次探検ルートの研究』、三宅伸一郎氏が『日本のチベット研究の先駆者としての小栗栖香頂』を発表いただきました。昼食を挟んで午後からは、高本康子氏が「能海からヘディンへ、ヘディンから能海へ」、奥山直司氏が『教育者としての河口慧海、生誕150周年記念事業報告を兼ねて』と題して、それぞれ4件の会員研究発表が行われました。午後2時から、記念講演として、東洋大学客員研究員飯塚勝重氏による「新仏教徒能海寛と『在渝日記』に見る連作五言絶句の意味するもの」と題して、能海の新仏教徒運動の研究成果をご講演いただきました。



【第135回定例学習会のご案内】9月9日(土) Pm1:30~4:00 ときわ会館で開催。

能海寛著『世界に於ける佛教徒』第11章「仏教回復」、第12章「総会議所」を読みます。